

発掘された羊たち?

～平成27年の干支・羊にまつわる出土品の紹介～

弥生時代の日本には、ヒツジはいませんでした。中国の歴史書『魏志倭人伝』にそのように記されていますし、日本の遺跡でヒツジの骨は見つかっていません。しかし、青谷上寺地遺跡から出土した箱型の琴の側板には渦巻き状の角を2重の円で表した動物が描かれていて、これは「ヒツジ」ではないかといわれています。

側板には中央の動物をはさんで動物が左右2匹ずつ向き合うように描かれています。左の2匹の頭のところをよく見てみると、右の2匹のように2重の円で刻まれています。つまりもともと4匹の同じ動物を左右対称に描いていたところに、左側の2匹だけ2重の円を削り取り、尖った耳を描き加えているのです。

耳の尖った動物はシカと考えられ、弥生時代の遺跡から発見される土器や青銅器に描かれることがあります。青谷上寺地遺跡では椀形容器にも描かれていることから、弥生人にとって身近な動物だったことが想像されます。ヒツジは、もしかしたら青谷にやってきた渡来人か、大陸に渡って見てきた弥生人が描いたものかもしれませんが、どうしてシカに彫り直されたのかははっきりしていません。



↑青谷上寺地遺跡出土の琴



青谷上寺地遺跡出土の琴の側板 (弥生中期)



パズルはどっち?

かべんたかつき
～花卉高杯の立体パズル～

このページの出土品に関しては『鳥取県の考古学第2巻 弥生時代I』に詳しく掲載しています。購入方法などは裏表紙の「販売図書の御案内」をご覧ください。



こちらは青谷上寺地遺跡から出土した木器「花卉高杯」（食べ物盛ったと考えられている器）の復元品です。杯部の裏側に5弁の花弁が彫刻されている華麗な器として知られています。左の写真は、同じものが2つに見えますが、ひとつは本物そっくりにした「立体パズル」で、磁石でパズルパーツがぴったりとくっつく仕組みになっています。

ばらばらのパズルを組立てると、まるで出土品の修復をしているみたい!

埋蔵文化財センターのイベント「古代まつり」では珍しい形からこの「花卉高杯」の立体パズルは、特に小さなお子さんに人気でした。

中には1分以内にパズルを完成させた方も!

今後も埋蔵文化財センターのイベントで登場しますので、お楽しみに!



左はパズル!

右は復元品!

出前講演会開催中!

埋蔵文化財センターでは、鳥取県の考古学について広く情報発信するため、職員(文化財主事)が各地に出向き、「出前講演」を行っています。講演の実施にあたっては、講師への謝金は不要です。(旅費についてはご相談ください。)会場については御準備ください(会場使用料等の経費は申込者負担をお願いします)。各種研修会や地域の歴史学習会等でご活用ください。



※写真は昨年度国府町で開催した様子

●テーマの一例紹介●

「須恵器の生産と流通」

古墳時代の社会を復元する上で、モノがどのように生産され流通していたのかを知ることはとても重要です。須恵器を例に考えていきたいと思います。

●担当者よりひとこと●



よくよく見れば須恵器も個性豊かです。この個性を手がかりに生産と流通の実体に迫りたいと思います!

文化財主事 梅村 大輔

その他のテーマも今後紹介していきます。出前講座は、ホームページでもご案内しています。
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=28013>

フェイスブックを始めました!

発掘調査のタイムリーな情報や、遺跡を活用した、楽しい取り組みなどを紹介中ですので、是非ご覧ください。

アドレスはこちら <https://www.facebook.com/tottorimaibun>

発掘! 文化財キャラ

～県内の文化財キャラ紹介コーナー～
〈青谷上寺地遺跡のAKJ9〉



国指定史跡青谷上寺地遺跡の9体のイメージキャラクター。青谷高等学校の生徒が美術の授業でデザインしました。このたび、AKJの四コマまんがと新しいイメージキャラクターを発表! 詳しくはこちら

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=82388>

「かまぞう」は四コマまんがに登場しているよ!
手はまが玉、背中には青谷から出土した琴に描かれていた動物がいるよ!



かまぞう



〈漁に使った道具〉

青谷上寺地遺跡からは直径2cm程度の孔の空いたアカウミガメの甲羅が出土しています。左の写真の結などで突いてしとめたと考えられています。

●AKJ9のストラップとマグネットが発売中!

【取り扱い】青谷上寺地遺跡展示館、あおや和紙工房、あおや郷土館、青谷ようこそ館砂丘観光施設、鳥取東部の道の駅(神話の里白うさぎ)など

【価格】各300円(+税)

【この記事に関するお問い合わせ先】

鳥取県教育委員会文化財課 (0857) 26-7934

つくってみよう! 弥生のイメージレシピ

第3回あなたも弥生のお菓子職人! 青谷かみじち賞レシピ



史跡 青谷上寺地遺跡ってなんだろう?

鳥取市青谷町に所在する弥生集落遺跡です。保存状態の良い出土品が多く、その別名も「地下の弥生博物館!」奇跡的に残った「弥生人の脳」も、この遺跡から出土しています。



第3回あなたも弥生のお菓子職人! 青谷かみじち賞レシピ 【ちんびんの栗きんとん包み】

【材料】(2人分)

栗きんとん	(A)	ちんびん	
さつま芋 250g	水 40cc	黒砂糖 50g	ベーキングパウダー 小さじ2
市販の甘露煮 10~15粒	砂糖 25g	水 2カップ	卵 1個
くちなし 1 1/2個	みりん 40cc	小麦粉 130g	サラダ油 小さじ1
塩 少々	甘露煮シロップ 40cc	米粉 120g	

- まず栗きんとんを作ります。
- ①さつま芋は輪切りにし、厚目に皮をむき四等分に切り、水にさらしておく。
 - ②鍋に水と漬たくちなしを入れ、①を加え強火で柔らかくなるまで茹で上げ、手が黄色く染まったらザルに上げる。
 - ③②が熱いうちに一度裏漉し、鍋に戻し(A)を加え、ゴムベラ又は、木ベラで良く練り、つやを出し、栗を入れ練り上げる。このとき栗は1cm角ぐらいに切っておく。
 - ④冷めたらタッパに入れ冷蔵庫に冷やしておく。
- 次にちんびんを作ります。
- ⑤黒砂糖を分量の水で煮、溶かし、あくをすくい取って冷ましておく。
 - ⑥小麦粉と米粉とベーキングパウダーをふるいにかける。
 - ⑦⑤に⑥と卵を入れ、ムラのないように混ぜてサラダ油を加える。
 - ⑧熱したフライパンに油をひき、クレープを焼く要領で⑦を薄く流し入れる。
 - ⑨表面にプツツ穴があいてきたら裏返して焼く。
 - ⑩⑨を絞り袋に入れて焼き上がったちんびんの手前に絞り出し、クルクルと巻いて出来上がり。

作者の小椋美佳さんのコメント

栗きんとんは少し難しいですが、生地を焼いたり栗きんとんを包んだりすることは、クレープ感覚で作れて楽しいので、ぜひ一度作ってみてください。いろいろなアレンジもできます。